秘密法と共謀罪に反対する愛知の会 2018 年 秋の連続学習会　　2018.10.9

警察の市民運動への監視・弾圧を許さない【第１回】

「有罪率99.9％の壁をいかに打ち破ったのか」

－名古屋・白龍町マンション事件－

講師：塚田聡子 弁護士

お話：奥田恭正さん（当事者）

【タイムテーブル】

司会 中川匡亮 事務局次長

18:30～ 開会挨拶

18:35～

・約 90 分 塚田聡子弁護士の講演、奥田恭正さんのお話

・約 20 分 質疑応答

20:25～ 閉会挨拶

低層住宅が並ぶ住宅地に突然15階建ての高層マンションが建つという。住民は住環境を守るために立ち上がった。住民の工事監視活動をやめさせようと、警察と事業者は意を通じて、住民運動リーダーである奥田さんの「暴行」事件をデッチ上げて逮捕・勾留し、「自白」を強要し、検察は起訴をした。有罪率99．9％の日本の裁判の現状で無罪を勝ち取った当事者・弁護団・支援者の闘いを、「共謀罪」が導入された今こそしっかり学ぼう。

【第２回】10月23日(火)　－大垣警察市民監視事件－

公安警察は「無法地帯」か？

講師：山田秀樹・大垣警察市民監視違憲訴訟弁護団長

【第３回】11月13日(火)　－「刑事司法改革」の功罪－

日本の刑事司法制度を考える

講師：石田倫識・愛知学院大学教授（刑事訴訟法）

【プロフィール】1978 年、福岡県生まれ。九州大学法学部卒業、同大学院法学府博士後期課程単位取得退学。同助手・助教等を経て、現在、愛知学院大学法学部教授。専攻は刑事訴訟法で、とくに黙秘権、弁護権、被疑者の取調べ等を研究している。主要著作として、共編著『接見交通権の理論と実務』(現代人文社、2018 年)、「被疑者・被告人の防御主体性――黙秘権を手掛かりに」『シリーズ刑事司法を考える第３巻 刑事司法を担う人々』(岩波書店、2017 年)、「黙秘権保障と刑事手続の構造」刑法雑誌 53 巻 2 号(2014 年)ほか、多数。

第2回・第3回とも　★会場 名古屋第一法律事務所3F ★開始 18:30～ ★資料代 500円

マンション建設反対運動
暴行でっち上げ事件

弁護士　塚田聡子（名古屋共同法律事務所）

マンション建設反対運動（H27.10.末～）

- この地域に１５階建てマンション？？？
- 反対集会、反対運動
- 名古屋市の条例に基づき、調停申出
- 仮処分申立て（６階を超える部分の建築工事差止め）
- 審査請求（建築確認処分取消し）

☆業者からは、工事妨害禁止等調停申立て

1

現行犯逮捕（H28.10.7）

- 奥田氏が現場監督の胸を両手で突き飛ばした？？？
- 現場監督が徐行中のダンプカーの側面に接触した？？？
- 現場監督が左背部打撲で全治１週間？？？

2

勾留決定（H28.10.8）

- 検察官よ、まさか勾留請求するつもり？？？
- 裁判官よ、まさか勾留決定するつもり？？？

3

勾留延長決定（H28.10.17）

- 検察官よ、まさか勾留延長請求するつもり？？？
- 裁判官よ、まさか勾留延長決定するつもり？？？

☆景住ネット主催「全国まちの問題フォーラム in 名古屋」（H28.10.22）迫る

4

自宅及び薬局３店舗の捜索（H28.10.20）

- なぜ、こんな時期に捜索するの？？？
- 捜索の目的は、いったい何？？？

5

公判請求・保釈決定（H28.10.21）

- 検察官よ、まさか公判請求するの？？？
- 裁判官よ、即日保釈を！！

6

全国フォーラム開催・弁護団結成へ（H28.10.22）

- 奥田氏も景住ネット主催「全国まちの問題フォーラム in 名古屋」に無事参加！！
- 奥田氏の頑張りが支援の輪を広げる！！

7

防犯カメラ映像の証拠開示（H28.12.上）

- 何だ、この映像は？？？　驚きの連続！！
- 無罪を確信！！
- 奥田氏の無実をどうやって証明するか

8

橋本正次教授　登場！

- H28.11.28　ＮＨＫ「ブレイブ　勇敢なる者『えん罪弁護士』」放映
- 橋本正次教授（東京歯科大学　法歯学・法人類学講座）の存在を知る
- 橋本教授　協力依頼を快諾

「奥田氏は突き飛ばしていない！！」

9

第１回公判（H28.12.27）

- 暴行を加えた事実はないとして、無罪主張
- 裁判官よ、防犯カメラ映像の法廷モニターでの再生を認めよ！！

10

第２回公判（H29.3.14）

- 被害者とされる現場責任者の曖昧な証言
  警察とグル？？？　事件当日に飲会？？？
- 目撃者とされる警備員の不自然な証言
- 裁判官、防犯カメラ映像の法廷モニターでの再生を許可

11

鑑定請求（H29.5.12）
⇒ 鑑定採用決定（H29.6.6）

- 裁判官・検察官「背後からの映像で何が分かるの？」
- 関節の位置・動きから、見えないはずの腕・手が見える！！
- この鑑定ができるのは、橋本教授のみ！！

12

第３回公判（H29.6.15）

- 被告人質問　不当な取調べの実態が明らかに！！
- 鑑定人尋問を経て、鑑定嘱託

13

鑑定書提出（H29.10.3）

- 当初の予定から大幅に遅れての提出
- 奥田氏の突き飛ばし行為は認められない！！
- 現場監督の動きが不自然！！

14

第４回公判（H29.11.21）

- 橋本教授の証人尋問　「突き飛ばし行為はない！！」
- 検察官　橋本教授の証言に形だけの抵抗

15

第５回公判（H29.12.21）

- 検察官の論告　求刑は何と「罰金１５万円」
- 弁護人の弁論、奥田氏の最終意見陳述で無罪主張
「本件は、マンション建設に反対する住民を敵視した業者と警察による不当な弾圧だ！！」

16

第６回公判（H30.2.13）

- 判決宣告　「被告人は無罪！！」
- 無罪判決の予感（最後の最後に、ちょっと広めの法廷）

17

無罪確定（H30.2.28）

- 2000名を超える控訴断念の要請書
- 検察の最後の抵抗？「控訴するかは教えられい」
- 検察庁「上級審で無罪判決を覆すのは難しいと判断」

18

係争中の訴訟

- 工事による騒音の損害賠償請求
- 工事現場周辺の防犯カメラの損害賠償請求
- 刑事補償、費用補償請求
- 現場監督に対する損害賠償請求（虚偽の被害申告）
- 業者に対する損害賠償請求（使用者責任）
- 国家賠償請求（不当な捜査）

19

2018・3・1朝日新聞

「反対運動で暴行」男性の無罪が確定

名古屋 マンション建設巡り

名古屋市瑞穂区のマンション建設の反対運動中に、現場責任者の工事監督を突き飛ばしたとして、暴行の罪に問われた男性(61)の裁判で、無罪（求刑罰金15万円）を言い渡した名古屋地裁判決が28日、確定した。検察側が控訴期限までに控訴しなかった。名古屋地検は「詳細に検討した結果、一審の判断を覆すのは困難と認められた」としている。

男性は現場北側に住む薬剤師の奥田恭正さん。2016年に暴行容疑で逮捕、起訴された。13日の地裁判決では、被害を訴えた監督の証言について「曖昧で、全面的に信用するには合理的な疑いが残る」「疑問を払拭するだけの他の証拠もない」などと判断し、無罪を言い渡した。

無罪の男性「なぜこんな労力必要なのか」

弁護団に囲まれ笑顔で喜びを語る奥田恭正さん(中央)＝名古屋市中区三の丸

「本当にありがとうございました」。奥田さんは28日、弁護団と名古屋市内で記者会見し、支援者らへの感謝を涙ながらに語った。「罪を作って逮捕するのか。やっていない、と最初から言っていることを証明するのに、なぜこんな労力が必要なのか」。警察や検察への、やりきれない思いを吐露した。

14日間勾留された愛知県警瑞穂署では、取調官に「工事監督を両手で突いたところがビデオに映っている」と言われた。「映像を見せてほしい」と頼んだが拒まれ、「けがをさせたことは申し訳ない」との供述書に署名せざるを得なかった。長引く勾留に経営する薬局のことが心配になり、「やったといえば出してもらえるのか」と取調官に尋ねるまで追い詰められたという。

事件前たびたび瑞穂署と相談していた奥田さんにとって、逮捕は予想外だった。「警察は市民のためにあると思っていたのに」。考え方が変わり、今では警察の過剰捜査に反対する日本弁護士連合会の東京集会にも出かけている。

建設に反対したマンションは3月完成予定。抗議行動が続くが、逮捕前約10人だった参加者は、今5、6人。以前は「反対」の気勢を上げていたが、今は向かい側で無言の抗議をするなどトラブルを避けているという。奥田さんの逮捕・起訴によって運動の気勢がそがれたことは否めない。

無罪確定を受け、瑞穂署の福島俊二副署長は「違法状態があれば取り締まる。裁判官の令状に基づき逮捕した」と語った。弁護団は国家賠償請求訴訟や、工事監督への民事訴訟を検討するとしている。

（編集委員・伊藤智章）

国賠請求等提訴記事

無罪確定の男性が国賠請求

名古屋地裁 「反対運動で暴行」事件

名古屋市瑞穂区でのマンション建設の反対運動中に工事監督を突き飛ばしたとして暴行罪に問われ、その後の裁判で無罪判決が確定した男性(61)が24日、精神的苦痛を受けたとして、国と愛知県に計1100万円の国家賠償などを求める訴訟を名古屋地裁に起こした。併せて、公判であいまいな証言をした工事監督側に計1100万円の賠償を求めて提訴した。

提訴したのは、建設現場北側に住む薬剤師の奥田恭正さん。

2016年に暴行容疑で逮捕・起訴され、今年2月の名古屋地裁判決で無罪を言い渡された。判決は、被害を訴えた工事監督の証言について「あいまいで、全面的に信用するには合理的な疑いが残る」とし、防犯カメラの映像からも突き飛ばす行為はなかったと認定。検察側が控訴せず、確定した。

この日、記者会見した奥田さんは、警察や検察が防犯カメラの映像をきちんと確認せずに逮捕・起訴したなどと主張。工事監督の証言については「無実の人間を罪に陥れようとした」と批判した。

2018.7.25 朝日新聞

暴行「無罪」男性 1100万円国賠提訴

名古屋地裁

マンション建設現場で現場監督を突き飛ばしたとして暴行罪に問われ、裁判で無罪が確定した名古屋市瑞穂区の薬剤師奥田恭正さん(61)が24日、不当に逮捕、起訴されたなどとして、国と愛知県に対し、計1100万円の国家賠償とともに、採取した指紋などの抹消を求める訴えを名古屋地裁に起こした。

奥田さんは建設に反対する住民のリーダーで、2016年10月、同区の建設現場で現場監督の男性を突き飛ばし、通りかかったダンプカーに接触させたとして暴行罪で起訴されたが、同地裁は今年2月、無罪を言い渡した。

訴状では、不十分な捜査で現行犯逮捕され、自白を強要するような取り調べを受けたことなどにより、精神的な苦痛を受けたなどと主張。さらに、捜査で採取した指紋とDNAデータの抹消も求めている。

あわせて、現場監督の男性とマンションの施工業者を相手取り、1100万円の損害賠償を求める訴えも同地裁に起こした。

提訴について、県警や名古屋地検、施工業者はいずれも、コメントできないなどとしている。

2018.7.25 読売新聞

国賠請求等裁判　第１回口頭弁論記事

無罪男性賠償訴訟 国と県棄却求める

名地裁で初弁論

マンション建設の反対運動中に暴力を振るったとして暴行罪で起訴され、無罪が確定した名古屋市瑞穂区の薬剤師奥田恭正さん(六二)が、誤った捜査で精神的苦痛を受けたとして、国と愛知県にそれぞれ五百五十万円の賠償を求めた訴訟の第一回口頭弁論が二日、名古屋地裁であった。国と県は請求棄却を求めた。

訴えによると、奥田さんは二〇一六年十月、同区内のマンション建設現場前で、現場責任者の男性を突き飛ばした疑いで県警に逮捕され、名古屋地検に起訴された。同地裁は今年二月、男性の被害証言を信用するには合理的な疑いがあるとして無罪を言い渡した。

原告側は捜査で採取された指紋やDNA、携帯電話のデータの抹消も求めている。

2018.10.3 中日新聞

■国賠訴訟　請求棄却求める

名古屋市瑞穂区でのマンション建設の反対運動中に、工事監督を突き飛ばしたとして暴行罪に問われ、その後の裁判で無罪判決が確定した男性(62)が起こした国家賠償請求訴訟などの第１回口頭弁論が２日、名古屋地裁であった。被告の国と愛知県、工事監督側はいずれも請求棄却を求めた。

原告は建設現場北側に住む薬剤師の奥田恭正さん。名古屋地裁が今年２月に無罪を言い渡し、確定した。奥田さんは、警察や検察が防犯カメラの映像をきちんと確認せずに逮捕・起訴したなどとし、工事監督の証言を「無実の人間を罪に陥れようとした」と訴えている。

被告側は具体的な反論を追ってするとしたが、工事監督側は「（奥田さんが工事監督に）体当たりするなどして押した行為が、防犯カメラの映像から見て取れる」などと反論した。

2018.10.3 朝日新聞